

桂由美追悼ファッションショー（偲ぶ会）Yumi—celebration of life—に参列して

櫻友会副会長 熊谷由美

2024年8月9日盛夏、日本のブライダルの先駆者として59年間第一線でご活躍された、櫻友会前会長の桂由美先生を偲んで、帝国ホテル「孔雀の間」において「桂由美追悼ファッションショー」が開催されました。

桂先生は生前、お葬式はせずにショーを開いてほしい、会場装花は假屋崎省吾氏に、秋川雅史氏に『千の風になって』を歌ってほしいと語っていたそうです。

参列者のドレスコードはスマートエレガンスで、パープル・チェリーピンク・ターコイズブルー・ロイヤルブルー・イエロー・グリーン等桂先生が愛したカラーを取り入れたファッションで参列するよう案内がありました。

桂先生が特にこだわって制作した洋装と和装の100着を厳選し、世界的トップモデルの富永愛氏をはじめ、これまで桂先生のショーに出演されたモデルの方々の出演によるファッションショーが、11シーンで披露されました。

最初にユミカツラクリエイティブチームの藤原綾子氏、森永幸徳氏、飯野恵子氏らの挨拶があり、続いて会場に桂先生が生前に語られた「愛」についてのお言葉が流れました。

いよいよ秋川雅史氏が歌う中、富永愛氏が「フェアリーフェザー」と名付けられたウエディングドレスを身に纏って登場し、その圧巻のランウェイに会場内には大きなよめきのような歓声があがりました。桂先生の代名詞である「ユミライン」のドレス、ミキモトのアコヤ真珠をあしらった「ギネス登録済」のドレス、大輪のバラをあしらったローズユミのドレス等が次々に登場しました。

会場前のブースには、假屋崎氏の豪華な装花の中に桂先生の等身大のパネルや、初公開となる桂先生のワードローブ、ターバン、デザイン画が展示されました。壁面にも桂先生のこれまでの名言が展示されていました。

ショーの最後には、3Dホログラムを使って映し出された桂先生のお姿が登場し、まるで桂先生がその場にいるかのような演出に、会場が驚きと感嘆で沸き上がりました。



昨年開催された櫻友会主催の「桂由美トーク&ファッションショー」の中の卒業生によるアニバーサリーウェディングのシーンで、私はルビー婚のモデルとして出演させていただきました。桂先生のブライダルハウスで、先生の前で緊張しながらフィッティングとウォーキングをしたこと、今年の卒業式では休憩時間に、桂先生と植田ゆかり監事と三人で靖国神社から千鳥ヶ淵を散策したこと等、様々な思い出が蘇り、泣きそうになるのを必死に堪えながら、精一杯拍手をいたしました。会場の誰もが感動と勇気を与えられた桂先生の愛が溢れる素晴らしいショーでした。桂先生のご冥福を心よりお祈りいたします。

